

高等学校 令和6年度 (3学年用) 教科 家庭 科目 社会生活と福祉

教科: 家庭 科目: 社会生活と福祉 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 組 ~ 組

教科担当者: (松木 暁子) (組:) (組:) (組:) (組:) (組:)

使用教科書: (なし)

教科 家庭

の目標:

- 【知識及び技能】人の生活にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それに係る技能を身につけるようにする。家庭や地域及び社会における生活の中からの課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【思考力、判断力、表現力等】様々な人と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする。

科目 社会生活と福祉

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
高齢者や障がい者の健康と生活、介護などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。	高齢者や障がい者の健康と生活、介護などに関する課題を発見し、高齢者の生活支援と福祉の充実を担う職業人として解決する力を養う。	家族や地域の人々の豊かな生活の実現を目指して自ら学び、高齢者や障がい者の生活の質の向上と生活支援に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 健康と生活 【知識及び技能】 健康寿命の延長やQOLを高めることが必要であることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 QOLを高める方法としてICFの特徴を理解し、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康と生活について学び、高齢者や障がい者の生活の質の向上と自立生活支援に主体的に考えまとめられるようになる。	○指導事項 ・健康寿命の延長やQOLについて ・QOLを高めるためのICFについて ○教材 ・プリント ○一人1台端末の活用 等 資料の提示 ・実習の記録・レポート作成	【知識・技能】 ・QOLについて理解できているか 【思考・判断・表現】 ・ICFについて理解でき、まとめることができているか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活の質の向上についてまとめることができているか	○	○	○	12
	B 高齢者及び障がい者の生活支援 【知識及び技能】 障がいや加齢に伴う心身の変化を踏まえ、自立生活について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 障がい者や高齢者の自立生活の課題を見つけ解決について考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 障がい者や高齢者の生活の質の向上について共同的に取り組む	○指導事項 ・コミュニケーションについて ・健康課題について ・高齢者疑似体験 ・QOLを高めるためのICFについて ○教材 ・プリント ○一人1台端末の活用 等 資料の提示 ・実習の記録・レポート作成	【知識・技能】 ・各ライフステージにおける健康課題や目標を理解できているか。 【思考・判断・表現】 ・健康診査や健康管理の必要性を理解できているか。 ・コミュニケーションの方法について理解し、発表できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生活習慣予防について調べてまとめることができているか。	○	○	○	12
2 学期	C 障がい者や高齢者の心身特徴 【知識及び技能】 障がいや加齢による心身の変化とその特徴を具体的に理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 障がい者、高齢者の仕事、健康問題、介護などの生活課題について考え、まとめることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 障がい者や高齢社会の様々な課題について理解し、実践的な態度を身につける。	○指導事項 ・障害や加齢にともなう身体的・心理的・社会的特徴や加齢と病気や症状との関係について。 ・事故防止への重要性、認知症への理解と対応について。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ○教材 ・プリント ○一人1台端末の活用 等 資料の提示 ・実習の記録・レポート作成	【知識・技能】 ・認知症について理解することができているか。 【思考・判断・表現】 ・認知症の人とのかかわり方が理解できているか。 ・コミュニケーションの方法について理解し、発表できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・認知症サポーター養成講座を積極的に受講することができたか。	○	○	○	12
	D 障がいについて 【知識及び技能】 ・様々な障がいについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活でできるサポートについて考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 共生社会を実現させるための課題について考え、実践的な態度を育てる。	○指導事項 ・障がいを正しく理解し、自分たちが対応できることについて考えをまとめる。 ・身体障がいと精神障がい、知的障がい、高次脳機能障がいについて理解を深める。 ・教材 ・一人1台端末の活用 等 ○教材 ・プリント ○一人1台端末の活用 等 資料の提示 ・実習の記録・レポート作成	【知識・技能】 ・障がいについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自分たちでできるサポートや必要性について考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身体的障がいについて理解し、実習に積極的に取り組み、レポートにまとめる。	○	○	○	10
	E 自立生活支援について 【知識及び技能】 ・ユーザライゼーションやユニバーサルデザインなど社会福祉の基本的な考え方を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常生活でできるサポートについて考えをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 共生社会を実現させるための課題について考え、実践的な態度を育てる。	○指導事項 ・身近なユニバーサルデザインについて調べ、自分たちが対応できることについてまとめる。 ・事例から、自立生活を支えるサービスなどについて理解を深める。 ・一人1台端末の活用 等 ○教材 ・プリント ○一人1台端末の活用 等 資料の提示 ・実習の記録・レポート作成	【知識・技能】 ・ユニバーサルデザインについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・自分たちでできるサポートや必要性について考察できているか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・実習に積極的に取り組み、レポートにまとめる。	○	○	○	12

3 学 期	F 高齢者介護について 【知識及び技能】 介護予防の考え方に基づいた見守りや支援の重要性について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 麻痺、視覚障がい者、認知症などがある高齢者の介護を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 生活や地域の中でのリハビリテーションについて事例を通して理解する。	○指導事項 ・予防介護について理解し考えをまとめる。 ・国の制度やサービスなどについて理解を深める。 ○教材 ・一人1台端末の活用 等 ○教材 ・プリント ○一人1台端末の活用 等 資料の提示 ・実習の記録・レポート作成	【知識・技能】 ・介護について、介護予防の観点から理解する。 【思考・判断・表現】 ・高齢者介護について様々なサービスを調べ考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・高齢者介護の実習を通して、リハビリテーションの必要性についてまとめる。	○	○	○	10
	G 生活支援について 【知識及び技能】 衣・食・住の生活支援について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・レクリエーションの意義と目的を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ボランティア活動を通して、高齢者に関する知識や技術を生かして理解する。	○指導事項 ・レクリエーションの意義と目的を理解する。 ・レクリエーションにはどのような種目があるのかを理解し、高齢者に応じたレクリエーションを考察する。 ○教材 ・一人1台端末の活用 等 ○教材 ・プリント ○一人1台端末の活用 等 資料の提示 ・実習の記録・レポート作成	【知識・技能】 ・レクリエーションの種類や目的について考察する。 【思考・判断・表現】 ・レクリエーションを行うときの留意点について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に実習に参加し、レクリエーションを盛り上げる留意点についてまとめる。	○	○	○	10
							合計
							78